

「令和2年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 3 年 4 月 15 日

事業名称		公害対策事業費 [公害対策事業]									
予算科目	款	4	衛生費	項	1	保健衛生費	目	8	公害対策事業費	事業番号	1
事業の種別	<input type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input checked="" type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)										
担当部署・課長名	環境 課 環境公害 係					課長名	下村 和郎				
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。								施策番号	4 - 8		
【施策名】 環境の保全								総合計画書(ページ)	99		
この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標)					
	市民					各年度4月1日時点の住民の数					
	→										
この仕事の目的	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標)					
	市民が快適に暮らせる環境が実現された状態					市民意識調査における「環境の保全」に関する市民の「満足」の回答率が高い状態。(「非常に満足」と「満足」の回答割合が過半数以上であること。)					
	→										
この仕事の目的	③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標)					
	大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、悪臭等の苦情相談の受け付け					苦情相談受付件数					
	→										
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度	成果目標				
				平成30年度実績	平成31年度実績	令和2年度実績	令和3年度目標	令和4年度目標			
	対象指標	①の数値	人	85,698	85,337	85,266					
	成果指標	②の数値	%	16.3	17.1	17.2					
	目 標	②の目標値	%未満	50	50	50					
目標値設定の考え方 最低でも市民の過半数が環境の保全に満足を感じている状態を目標とする。											
3 経費	事業費(実績)		円	6,991,479	27,025,831	4,958,125	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,380,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成31年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)				
	財源	一般財源	円	2,220,479	2,156,831	638,125					
		特定財源(国・都・他)	円	4,771,000	24,869,000	4,320,000					
		(うち受益者負担)	円	0	0	0					
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.8	0.8	0.8					
所要人数(再任用)		人	0.0	0.0	0.0						
職員人件費(再任用以外)		円	6,704,000	6,704,000	6,704,000						
職員人件費(再任用)		円	0	0	0						
事業費+人件費		円	13,695,479	33,729,831	11,662,125						
4 環境変化等	(1) 開始年度	不明 年度									
	(2) 環境の変化	高度経済成長に伴う著しい産業公害や、生活環境における公害の顕著化に伴い、昭和44年には都において東京都公害防止条例が制定された。より多様化する公害問題等に対応すべく、平成12年に都民の健康と安全を確保する環境に関する条例が制定され、平成16年には市へ権限移譲がなされ、市が多くの場合に主体となって様々な環境問題に対応していくこととなった。近年では工場や作業場を起因とする事業公害はもちろんのこと、近隣の住民同士での騒音や悪臭等の公害も頻繁に発生するなど、多種多様な公害の発生と、それに伴う対策が求められている状況である。									

事業名称	公害対策事業費 [公害対策事業]			
担当部署・課長名	環境	課	環境公害	係 課長名 下村 和郎

5 市民等の意見	<p>この仕事に関して、令和2年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・転入してきた市民から電話で「苦情を伝えた際、職員がすぐに現場へ来てくれないのはおかしい。私が住んでいた〇〇区は数十人は環境課職員がおり、すぐに人が来てくれた。それぞれの専門家(悪臭担当、大気汚染担当など)もいた。」との意見あり。 ・窓口来庁者から「いろんな種類の相談聞いて大変ですね、この人数で。」との意見あり。
6 市民協働	<p>(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。(複数回答可)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 取り組んだ</p> <p><input type="checkbox"/> 取り組まない</p> <p>取組手法：⑦、⑧（「水質等分析調査」にて市民が保有している井戸水の水質を測定する。）</p> <p>【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）</p>
	<p>(2)令和3年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点</p> <p>多様化する環境公害に対応するためには、市の職員だけでなく、市民の方々や、市内事業者の方々も含めた問題意識の理解を含め、役割分担と責任を果たしながら協働する必要があると考える。</p>
7 課題	<p>(1)令和2年度に課題とした内容（「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（3）を転記）</p> <p>現在調査を行っている地域以外に調査可能な井戸を所有している市民の把握に努める。</p>
	<p>(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、令和2年度に実施したこと。</p> <p>水質調査について、新たな調査の実施などは実施できなかった。(前年度までは当該事業の内、水質調査のみの作成であった。)</p>
	<p>(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）</p> <p>令和2年6月に大気汚染防止法が改正され、石綿(アスベスト)悲惨防止対策が令和3年度から強化される。今後増加が見込まれる業務に現在の職員で対応することは難しく、課題である。</p>
8	<p>施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）</p> <p>施策名： 環境の保全</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> なっている <input type="checkbox"/> 環境の変化等により成果が減少している <input type="checkbox"/> 類似の事業が他にあり改善の余地がある 事業名（ ）</p>
9 今後の方向性	<p>(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）</p> <p><input type="checkbox"/> 拡大 <input checked="" type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止</p> <p>【取組内容】</p> <p>「市民が快適に暮らせる環境」を実現するため、多角的な分野の複数事業を行っているが、限られた財源や人員で事業を継続できるよう効率的な事業を実施していく。</p>
	<p>(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等</p> <p>各事業の更なる効率化を図れるよう、適宜事業の見直しを図っていく。</p>